

かわさき区の宝物シート

宝物No.

やこうちくいったいのちめいのゆらいせつめいのあんないばん 夜光地区一帯の地名の由来説明の案内板

エリア	大師地区	シーズン	通年
	塩浜・夜光	日時	



目的	<input type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input checked="" type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区夜光二丁目3番1号 (JXエネルギー 川崎製造所)
問い合わせ	NPO法人かわさき歴史ガイド協会
TEL	044-221-9117
FAX	044-221-9117
E-mail	
URL	
交通	市営バス 川 04系統「市営埠頭」行き、川 05系統「東扇島循環」行き 「JXエネルギー前」または「千鳥町北」下車



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号(川崎市指令ま計第159号)

基礎情報

- 昭和56年(1981)、川崎大師平間寺発祥にまつわる「夜光町」の町名の由来を後世に伝えようと、川崎市観光協会と夜光町町内会(現在は解散)、日本石油化学(現・JXエネルギー)が案内板を設置した。その後、平成24年(2012)、案内板の隣に立てた木製の碑が腐食により傾いていたため、案内板は共に撤去された。
- 平成26年(2014)、大開帳奉修の年に合わせ、平間寺と川崎大師観光協会によって、案内板は再建されることとなった。

由来・エピソード

- 「川崎大師平間寺発祥の伝説」は次のとおり、言い伝えられている。
- 平安時代、漁師として川崎に暮らしていた平間兼乗は、夢の中で高僧の声を聞き、らんらんと光る夜の海から高僧の彫った弘法大師像を引き上げたという。兼乗は像を「厄除弘法大師」として祀り、平間寺を建立。像の上がった海の周辺は「夜光島」として呼び伝えられ、現在の町名につながっている。

補足・その他

- 「夜光」の町名の由来には、「不知火の松」という言い伝えも残されている。伝承によると、夜光町が浜辺だった頃、大師河原村に父と娘の二人暮らしの漁師がいたそうだ。ある日、父が漁に出ると、風が吹き荒び、次第に吹雪になってしまった。娘は、沖にいる父に村の場所を知らせるために、浜辺の松のそばで松明を振りつづけた。翌朝、浜辺には、松明を握り締めたまま息絶えた娘と、痛々しい姿で浜に打ち上げられた父の姿があった。漁師たちは、親子の亡骸を松の下にねんごろに葬って墓をたて、漁の無事を祈るようになった。やがて、夜になると松に灯がとり、沖にいる漁師たちに村の場所を知らせるようになったという。

関連シート

(10-16)川崎大師平間寺